

2023 年度年次報告書
次世代 AI を築く数理・情報科学の革新
2023 年度採択研究代表者

PARMAS PAAVO

京都大学 大学院情報学研究科
特定助教

Theory, algorithms and software toward hyper-efficient Monte Carlo gradient estimation. (モンテカルロ勾配推定の超効率化に向けた理論、アルゴリズムとソフトウェアの開発研究)

研究成果の概要

今年度は研究を開始しました。最初は提案手法の素朴な実装を目指し、シンプルな LQR 問題を実装しました。この実装を用いてアルゴリズムの効率についての仮説を検証する予定です。また、3 月には機械学習のサマースクール MLSS2024 に参加し、モンテカルロ勾配推定に関するポスター発表を行い、この分野についての意見を集めました。研究代表者の研究機関の所属の変更もあり、まだ公開できる本格的な研究成果はありませんが、今後実装を完成させて、ロボット学習での大規模な実験を目指しています。